

ウマノオバチ

Euurobracon yokahamae

兵庫県：C

環境省：準絶滅危惧（NT） —

種の概要

体長15～24mm程度。♀は体長の6.5～9倍の長さの産卵管を持つ。体色は黄赤褐色で、腹部は暗褐色を帯びることもある。翅は赤黄色で、外縁は暗褐色。前翅に3個、後翅に1個の黒紋を有する。丘陵地から山地の樹林に生息し、シロスジカミキリの幼虫に寄生する。成虫は6月～7月頃に見られる。



写真提供：矢部清隆

国内分布

本州、四国、九州

県内分布記録

明石市、姫路市、播磨町、佐用町、加西市、淡路市、南あわじ市

選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
○					○

特記事項

県内では明石市、姫路市、加古郡播磨町、佐用町、南あわじ市から最近の記録がある。

保護上の留意点